

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	システム設計	科目名	内部設計	科目コード	T1242A1
配当期	前期・ 後期 ・通年	授業実施形態	通常 ・集中	単位数	4単位
担当教員名	梶田純孝	履修グループ	2F(MP/SP)	授業方法	演習
実務経験の内容	システムエンジニアとして IT 企業で 33 年間、インフラシステム・運用管理システム構築に携わり、特に運用管理アプリ SW の補完機能の開発での上流から下流工程までの一貫した構築実務経験や小規模ながら社内システム部門で約 2 年間、顧客管理・在庫管理・作業管理システムの要求定義・設計から構築に至る過程に従事してきた。これらの実務経験をもとにプログラム設計技法について実践的に授業展開を行う。				
学習一般目標	システム開発の基本となるウォータフォールモデルの内部設計工程に必要な技術を習得する。実習課題を通じて内部設計工程で求められる「外部設計書の理解」、「DFD の作成」「サブシステムのプログラム分割とプログラム仕様書作成」、「データベース仕様書の作成」、「画面設計書の作成」、「内部設計書の作成」「結合テストを含むテスト全般の仕様作成と実施」の一通りの作業を経験することを到達目標とし、3 年生前期の「内部設計演習」においてより実践的な実習に取り組むための基本技術を習得する。				
授業の概要および学習上の助言	レベル別に構成された実習課題に繰り返し取り組んでいくことで、内部設計の前工程の外部設計工程の成果物である外部設計書を基に各機能を実現する DFD 作成・プログラム分割とプログラム仕様書作成、データベース仕様書の作成、画面設計書作成、テスト仕様作成と実施の作業を一通り経験する。3 年生前期の「内部設計演習」における実践的な実習ができるように積極的に課題に取り組んで欲しい。				
教科書および参考書	IT 戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ:1 年次履修の「システム開発基礎」テキストを使用)				
履修に必要な予備知識や技能	ウォータフォールモデル開発およびプログラム設計・テストに関する技術および内部設計の基本的な知識				
使用機器	実習室にある Windows パソコン。なお、個人のパソコンにも Visual Studio をインストールすることができる。詳しくは初回の授業で説明する。自学自習のためにも個人のパソコンに開発環境を作成することを勧める。				
使用ソフト	開発環境: Microsoft Visual Studio 2017 使用言語: Visual C# 各ドキュメントの作成等は、Microsoft Word や Microsoft Excel も使用する。				
学習到達目標	学部 DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1、2	上流工程である外部設計工程のドキュメントを読みすることができる			
	1、2	基本的なデータフローダイアグラム(DFD)を作成することができる			
	1、2	基本的なサブシステムのプログラム分割およびプログラム仕様書の作成ができる			
	1、2	基本的なデータベース仕様書を作成することができる			
	1、2	基本的な画面設計書および画面遷移図を作成することができる			
	1、2	簡単なテスト仕様 (結合テストを含む) 作成および実施ができる			
	5	専門知識や技能を修得するために自ら継続的に学習する			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合			70				30	100	
	学部 D P	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断			30					20
		3.態度								
		4.技能・表現								
5.関心・意欲								30	30	
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート	授業中に出席する実習課題の提出物（各種仕様書・設計書）の完成度を評価する。								
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業への出席や実習課題への取り組み姿勢などを総合的に判断する。								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	科目オリエンテーション ウォータフォールモデルの全体像及び本科目の位置づけ・目的を理解する	講義・実習	
第2週 /	内部設計概要理解1 内部設計書を通じて内部設計で作成する成果物の構成を理解し、例題で未完成の内部設計書を完成させる実習を行う	講義・実習	
第3週 /	内部設計概要理解2 第2週の内部設計書完成作業の続きを行い、内部設計の全体像の理解を深める	講義・実習	
第4週 /	外部設計書理解 外部設計書の構成物及び設計書の読み方の講義の後に、初級レベルの外部設計書の内容理解に取り組む	講義・実習	
第5週 /	プログラム分割実習1 初級レベルの外部設計書に含まれる概略DFDに基づいて詳細DFD作成およびサブシステムのプログラム分割実習を行う	講義・実習	
第6週 /	プログラム分割実習2 初級レベルの外部設計書に含まれる概略DFDに基づいて詳細DFD作成およびサブシステムのプログラム分割実習を行う	講義・実習	
第7週 /	プログラム仕様書作成実習 第5～6週のプログラム分割結果に基づきプログラム処理概要・プログラム間インタフェース・プログラム一覧を含むプログラム仕様書の作成実習を行う	講義・実習	
第8週 /	データベース設計実習1 初級レベルの外部設計書に基づきER図によるデータベースモデル設計とテーブル設計を行い、データベース仕様書を作成する実習を行う	講義・実習	
第9週 /	データベース設計実習2 初級レベルの外部設計書に基づきER図によるデータベースモデル設計とテーブル設計を行い、データベース仕様書を作成する実習を行う	講義・実習	

第10週 /	画面設計実習1 初級レベルの外部設計書に含まれる概略画面設計書に基づき、画面設計書および画面遷移図作成実習を行う	講義・実習	
第11週 /	画面設計実習2 初級レベルの外部設計書に含まれる概略画面設計書に基づき、画面設計書および画面遷移図作成実習を行う	講義・実習	
第12週 /	テスト実習 結合テストを含むテスト仕様書作成、テスト実施、テスト成績書作成実習を行う	講義・実習	
第13週 /	総合演習1 実際の業務システムの比較的簡単な部分を題材として、外部設計書の理解・DFD作成・プログラム分割、データベース設計・画面設計・テスト設計を行い、内部設計書一式を完成する	講義・実習	
第14週 /	総合演習2 実際の業務システムの比較的簡単な部分を題材として、外部設計書の理解・DFD作成・プログラム分割、データベース設計・画面設計・テスト設計を行い、内部設計書一式を完成する	講義・実習	